

K 九工大通信

YUTECH TIMES

VOL.56
2020.10.1
AUTUMN

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY



特集
九工大
Now

こう変わった!

こう変わる!

ADMISSIONS

九工大の新しい入試

04

Voice of Graduate

株式会社
ブルスタジオ

玉手 美咲さん



06

Topics

九工大の新型コロナウイルス
感染症への対応

コロナにも負ケズ!!



07

Career Design

キャリア支援センター長コラム

「大学の環境をフル活用し
多くのことにチャレンジを」



こう変わった！

こう変わる！

「新たな価値」を生み出せる人材を求めて

九工大の新しい入試

Untill now

今までの大学入試

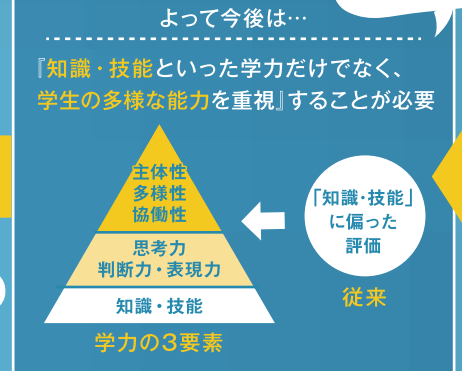
- ✓ 大学入試センター試験により基礎学力を評価
- ✓ 一般入試（前期/後期）により大学の特色に応じた学力を評価
- ✓ 推薦入試により筆記試験だけでは評価できない多様な資質や実績を評価

However

しかしながら時代は変わる…
これからの世界は
**予測不可能で
ヨクワカラナイ世界**
そんな世界で存在感を発揮して行くには「学力の3要素」をバランス良く身に付けていることが不可欠!!

VUCA時代とも
言われています

Therefore



今後の社会で求められる人物像

- 誰のマネでもない独自の視点で発想ができる人材
- 世の中に「新たな価値」を生み出せる人材
- 異分野の人とも思いを共有して前に進める人材

このような素養のある人材を広く求めるため
多面的・総合的な「総合型」の選抜を実施
As a result

入学試験（入試）から
入学者選抜へという
考え方へシフトチェンジ！
入学定員の全体の3割を
総合型選抜で選考へ！

Point!



Kyutech Examination

2020年10月1日

九工大で実施する入試一覧

令和3年度入試から総合型選抜Ⅰが新たにスタート
大きく6種類の選抜、最大5回の受験機会があります。

選抜区分	受験する人に期待していること	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
学校推薦型選抜Ⅰ 11月出願	会話を中心とした、論理的なコミュニケーション力	★★★	★★★★★	★★★★★
学校推薦型選抜Ⅱ 1月出願	理数系科目での高い学力	★★★★★	★★★★	★★
New 総合型選抜Ⅰ 9月出願	見て・聴いたことを整理して、他者に伝えるために書き出す力	★★	★★★★★★	★★★★★★
総合型選抜Ⅱ 1月出願 <small>※R3年度入試は12月出願</small>	他者と共に学び合おうとする態度	★★★	★★★★★★	★★★★★★
一般選抜 (前期日程) 1月出願	理数系科目での高い学力	★★★★★★	★★★★	★
一般選抜 (後期日程) 1月出願	理数系科目での高い学力	★★★★★★	★★★★	★

アドミッション
オフィスより
九工大の総合型選抜は、決して“ラクして受かるAO入試”ではありません。受験生のみならず、多様な能力を多面的・総合的に評価します。Globalに活躍し続けるエンジニアに欠かせない「力の素」を持つみなさんを待っています!!!

九工大の新しい入試 「総合型選抜」はココが違う！

一般選抜（前期・後期）で重視する理工系の学びの基礎学力（数学・理科）だけでなく、「今までの試験では測れない“学力”」を広く求めています。

「大学での学び」を先取りして体験

総合型選抜Ⅰでは「大学の講義を受講してレポートを書く試験」を実施。大学での学びは「わからないことと向き合うこと」。今の自分でどこまで理解できたのか。もっと理解するためにはどのような学びが必要なのか。それを他者に伝える表現力を評価します。

「知識の応用力」を評価

総合型選抜Ⅰ/Ⅱともに「課題解決型記述問題」を出題。学んだことを身近な現象と結びつけることができるかといった工学的センスや、課題解決に向かう力やグループで学び合うための計画立案力を評価します。

「チームで協働する力」を評価

総合型選抜Ⅰ/Ⅱともに「グループワーク」を実施。技術開発や研究は一人ではできません。このグループワークは議論を先導する人や発言回数が多い人だけが評価されるものではありません。他者の意見を引き出せる人、じっくりと考え周りをハッとさせる発言をする人などグループを活性化させる能力を評価します。

※R3年度入試は新型コロナウイルス感染症対応のため実施しません。



入試情報発信LINE公式
アカウントがスタート!



九工大の入試をもっと
詳しく知りたい方はこちら



シビックプライドの芽生え

デザインと工学を併せ持つ「建築」という分野に興味を持ち、九州工業大学の建築社会学科に新しく建築学コースができるということで、進学を希望しました。

リノベーションに携わることになったきっかけは、2011年に発足したリノベーションスクール@北九州です。スタッフとして運営をお手伝いすることになり、街のことを深く考え、街の人と深くかかわっていくにしようと思った。街のことも・住民のこともどんどん好きになっていきました。さらには「私はこの街の変化の一端を担っている」と感じるようになったのはずいぶん後のことですが、自分の将来を決定づけるような貴重な経験でした。人口減少・高齢化が進む社会の中では、スクラップ&ビルドではなくリノベーションが大事だということを学び、「これはおもしろい」と感じるようになっていきました。

人を幸せにする仕事

ブルースタジオに就職したのも、リノベーションスクールがきっかけです。その頃は、「ものづくりを通して社会の役に立ちたい、人を幸せにする仕事がしたい」と考えてはいたものの、「建物を建てることで社会の役に立っているのか」「建築で人を幸せにできるのか」といった大きなジレンマを抱えていました。そんな時に、講師として参加していた弊社の大島芳彦と出会って共感を持ち、「モノのデザインだけでなく、モノを取りまく様々な関係性をデザインすることで社会をよくし、人を幸せにすることができる」という実感を、それを実践しているブルースタジオへの入社を志望しました。

一からのスタート

入社して最初に感じたのは、他の同期入社

の人たちよりも建築の知識が圧倒的に少ないということ。大学では建築を専門的に学ぶコースではなかったために（建築学コースではなく都市再生デザインコースを専攻）図面を描くのさえ大変で、全てが一からのスタートでした。会社で実務をこなしながら資格の勉強をしていくのは正直厳しいものでしたが、一級建築士と宅地建物取引士の資格を取りました。

福岡オフィスが立ち上がったのは、今年の4月。以前から「いつかは福岡に戻って仕事がしたい」と思っていたところに夫の転勤が決まり、一時は会社を退職することを覚悟しました。ところが、社内で以前から地方支店開設の話が出ていたこともあり、私は福岡オフィスの立ち上げという新たな役目をもって福岡に戻ることができました。今後は、地方ならではの事業モデルの構築や、地方都市の多くが直面している人口減少や高齢化などの社会構造の変化の中であるべき不動産の姿をつくるという大きなビジョンも持っています。

仕事のやりがい

もともとものづくりが好きだったので、自分が関わってきた建物が出来上がっていくことに喜びも感じますし、理念を持ったクライアントの方々と共に創り上げていく過程もまた楽しいです。弊社は一般的な建築事務所と違い、物件が完成した後も、不動産管理などで、建物に関わっていくことができます。自分が企画・設計した建物に住む人が「どんな風に暮らしているのか」「どんな思いがそこにあるのか」を身近で体験できることが、仕事へのやりがいにつながっています。

私が建築の仕事を選んだのは、「社会の役に立つ仕事がしたいから」。今後も、そういった仕事に携わっていききたいですね。

VOICE OF GRADUATE

建築を基盤とした 既存環境活用のノウハウを活かし 社会に役立つ仕事がしたい



2011年にスタートしたリノベーションスクール@北九州。その運営に携わったことをきっかけに、自分の道を見つけ、進んでいった学生たちがいます。玉手美咲さんも、そんな一人。

入学当初はリノベーションのことなど知らなかった玉手さんがどうやって自分の進むべき道を探り、建築のどんなところに仕事の喜びを感じているのか。同じ会社に所属する、1年後輩の井手大悟さんも交えてじっくりとお話を聞いてきました。

PROFILE

株式会社
ブルースタジオ
マネージャー
一級建築士
宅地建物取引士
玉手 美咲さん
TAMATE Misaki

2012年 九州工業大学 工学部建設社会学科 都市再生デザインコース卒業。
株式会社ブルースタジオ入社8年目。2020年4月より福岡オフィス勤務。建築設計監理だけでなく、不動産事業企画、営業など、幅広い業務を担っている。

株式会社ブルースタジオ
(本社：東京都中野区)
既存社会環境の使いこなし方をデザインする会社として、建築設計・監理を軸に、不動産事業企画・地域再生コンサルティングなど、多様なアセットマネジメントソリューションを提供。2020年4月、福岡オフィス設立。
<http://www.bluestudio.jp/>

ANOTHER VOICE

ANOTHER EYE 1



リノベーション

3年生の時に発足した、学生主体の「北九州建築デザインコミュニティ tonica」での活動、リノベーションスクールでの活動を通して、「街づくりはトップダウンでなく、自分たちで造り上げていくものだ」といった考えに、すごく共感を持ちました。

ANOTHER EYE 2



転職

大学院修了時、リノベーションスクール@鹿屋の発足をきっかけに、鹿屋の建築事務所就職。当事者として、街や人が変わっていく様子を見てきました。5年ほどして地元に戻ろうと思っていた時に、ちょうど福岡に戻るといって玉手さんから誘われてブルースタジオに。

ANOTHER EYE 3



当事者としての経験

大学時代、鹿屋時代と、実際に街や人の中に入って当事者として関わることが多かったため、その実体験を伝えていきたいと思っていますし、それで喜んでもらえるたらうれしいです。仕事でも私生活でも、とにかく楽しく過ごしていきたいです！

九工大の後輩でもある
同僚の井手さんにも聞いてみました！



井手大悟さん
（前ブルースタジオ）
2015年 大学院工学府 建設社会学専攻 博士前期課程修了

Column

九工大 Career Design

2020年4月、今まで3キャンパスごとに別々に組織されていたキャリアセンターを統合し、大学全体のキャリア支援センターを設置、さらにキャリア支援センターの下に各キャンパスの就職支援を行うキャリア支援室を配置しました。この組織変更の大きな目的は社会情勢の変化等により、今後大きく就職活動・キャリア教育等の変革が求められる、それに迅速かつ適切に対応するためであり、今後ますます九工大の就職支援・キャリア教育を充実させ、サポートを向上させていきます。

さて、九工大の最も誇れることの一つに、就職の良さを挙げることができ、その就職実績の質の高さは本学を代表する特長といえます。毎年発表される「有名企業400社の実就職率」(株式会社通信では、全国の国公私立大学で毎年ほぼトップ10に入っており、最新の2020年卒業生では、全国第7位(37.4%)です。これは、九州の国公私立大学でトップであるばかりではなく、関西以西の国公私立大学の中でもトップの順位です。このような質の高い就職実績は、一朝一夕になせるものではなく、長年にわたって築きあげた本学の教育・研究等の育みの中で形成されるもの



大学の環境をフル活用し、多くのことにチャレンジを。

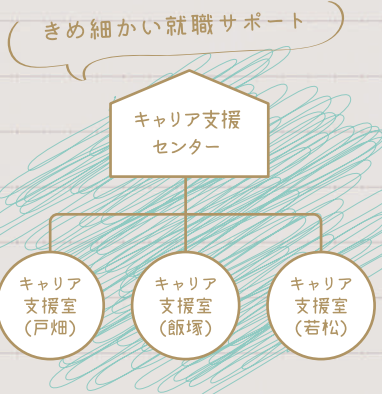
キャリア支援センター長コラム

で、まさに本学の伝統が形作った成果物といえるものです。本学の学生には、この貴重な財産を最大限に活用してもらおうだけでなく、卒業・就職後は、自身がその財産に貢献して頂くことを強く切望します。

一方で、就職活動で重要なことは、十分な企業研究を行うことに加えて、自分自身に対する研究(自己分析)を行うことです。経団連の新卒採用(2019年4月入社対象)に関するアンケート調査結果(2018年11月22日回答:597社)によると、入社選考にあたって特に重視した点は、コミュニケーション能力(82.4%)、主体性(64.3%)、チャレンジ精神(48.9%)の順になっています。このことから、できるだけ早い時期(低学年)から、自分自身に対する研究(自己分析)を開始し、コミュニケーション能力、主体性、およびチャレンジ精神とは何か、またそれらを向上させるためにはどうすればよいか等を模索することが就職活動の成功へつながります。

九工大では、コミュニケーション能力、主体性、およびチャレンジ精神等を涵養する仕組みとして、正課活動(授業)としてはプロジェクト学習(Project-based Learning「PBL」)、課外活動としては学

九州工業大学 副理事(学生担当)
キャリア支援センター長
工学研究院 教授
中尾 基
NAKAO Motoi



生プロジェクト等を整備しています。特に、学生プロジェクトは大学からの予算措置だけでなく、企業からご支援頂いているものもあり、他大学と比較しても非常に恵まれた環境です。また、全国立大学で5位の日本人学生の留学比率を示すほど九工大では海外留学のチャンスが多くあります。これらの機会を学生自身が積極的に活用し、コミュニケーション能力、主体性、およびチャレンジ精神を在学中に育み、大きく社会へ羽ばたき、これからの日本を支える人材になつてほしいと願っています。

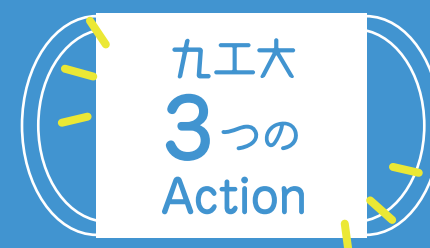
九工大 Topics

九工大の新型コロナウイルス感染症への対応



コロナにも負ケズ!!

新型コロナウイルス感染症の影響により、九工大でも卒業式、入学式の中止をはじめ、キャンパスへの入構制限など多くの制約を受けることになりました。…が、そのような状況の中でも大学としての使命を果たすべく、**九工大は停まることなく動き続けています!**



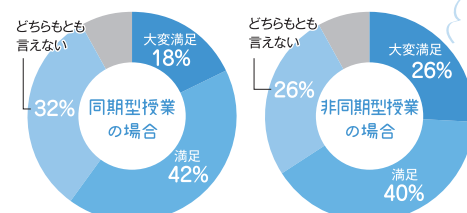
Action 1 オンラインでの遠隔授業の開始

3月中旬から「遠隔授業支援WG」を立ち上げ、ネットワーク環境整備や遠隔授業講習会の実施など教職員一丸となって準備。

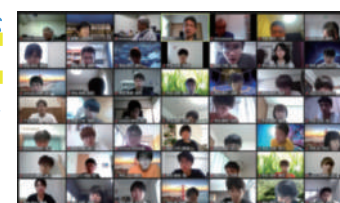
遠隔授業実施科目
前期(第1Q、第2Q) **427科目** 大学院 **204科目**

97%で遠隔授業
(第1Q:100%、第2Q:92%)

●学生への満足度調査(2020.5実施)



多くの学生が満足と回答!

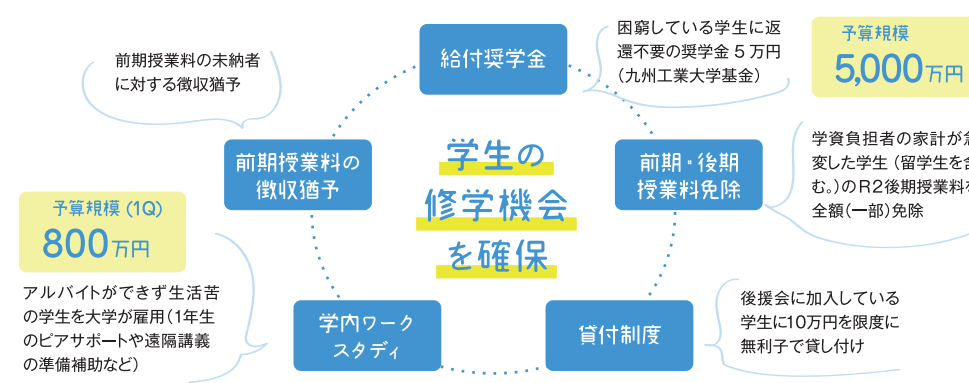


▲遠隔授業の配信

※同期型→ライブ配信型、非同期型→資料によるオンデマンド型

Action 2 九工大独自の経済的支援

各種経済支援により学生の修学機会の確保に努めます。



Action 3 オンラインで学生交流

学生どうしの繋がりをつくる手助けや、オンラインで困っていることをサポートするためさまざまなオンライン企画を発信!



オンラインお昼休み(学部1年生の交流会)

オンラインお昼休み(海外留学シリーズ)

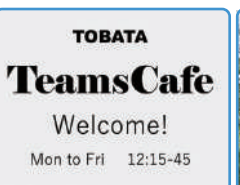
オンラインお昼休み

学部1年生を対象に、友達作りのきっかけの場として実施。お昼ご飯を食べながら、自己紹介やお題に沿って自由におしゃべり(^^)/



海外留学相談会

海外留学を希望する学生を対象に、zoomで面談を実施。どんな海外派遣プログラムがあるか、費用や経済支援など、気軽に相談できます。



TeamsCafe(工学部)

工学部の同級生や先輩、先生方と接する場として、オンラインでの情報共有スペース「TeamsCafe」を期間中、毎日配信!



YouTube「学部長だより(情報工学部)」

安永学部長による履修登録や遠隔授業の解説など学生へのメッセージをYouTubeで配信

他にもカウンセラーによる緊急学生アンケートをオンラインで実施し、コロナ禍でもきめ細やかな学生サポートを実施しています。

今後は… オンラインの簡便さ、キャンパス内で学ぶことの大切さを改めて考えながら、この状況をチャンスと捉え、**あらたな価値を創造するためチャレンジしていきます!**

九工大の質の高い就職

就職先 TOP 25

- 学部生就職希望者数 409名
- 大学院生就職希望者数 534名
- 公務員 28名
- 学部生の大学院進学率 56.5%

東証1部上場企業就職

48.4% ※ 大学院のみ **63.0%**

※他の上場企業・公務員を含めると55.5%

順位	企業名	就職者数
1	本田技研工業(ホンダ)	19
2	三菱電機	14
3	日立製作所	13
4	テクノス	12
5	トヨタ自動車九州	11
	三菱自動車工業	11
7	NECソリューションイノベータ	9
	スズキ	9
	日本製鉄	9
	富士通	9
11	パナソニック	8
12	北九州市役所	7
	九州NSソリューションズ	7

順位	企業名	就職者数
	九州電力	7
	マツダ	7
16	京セラ	6
	JFEスチール	6
	SUBARU	6
	ソニーLSIデザイン	6
	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	6
	ソフトバンク	6
	東京エレクトロン	6
	TOTO	6
	三菱ケミカル	6
	村田製作所	6

※2020年3月学部・大学院卒業生

「キャンパス内に『ローカル5G』!」

※未来思考キャンパス構想…九工大キャンパス内に最先端の「未来環境」を構築することで、学生や研究者が未来を身近に感じ、自由な発想で新たなアイデアを生み出すことを目指した取り組み。

2020年4月、(株)QNetと連携し、戸畑キャンパス内に「ローカル5G」環境が構築(産学連携としての免許取得は全国初)され、現在、実証実験に向け準備中! 5Gならではの「高速大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」といった環境を活用して産学連携による共同研究の推進や、社会実装前の技術の導入を進める予定です。この「ローカル5G」は、「無人店舗concept」に続く「未来思考キャンパス構想」の第2弾、九工大のキャンパスは常に進化し続けています!!!



「光触媒除菌スプレー『Dr.OHNO』!」

中間市役所や台北駐福岡経済文化弁事処ではこの技術の実証実験が実施され、いずれも高い殺菌性能が確認されており、今後も広く活用されることが期待されます。

工学部応用化学科の横野照尚教授が開発した技術が用いられている光触媒コーティング除菌スプレー『Dr.OHNO』。従来の光触媒材料は、建造物の防汚用やカーブミラーの防曇用として開発され、太陽光の紫外光が必要なため屋外でしか成果を発揮しにくいものでしたが、横野研究室では、室内光(LED光)でも高い殺菌、抗ウイルス、防カビ性能を発揮する室内光対応型光触媒ナノ材料を世界に先駆けて開発し、この製品開発に繋がりました。



ユーザと共に成長する家庭用サービスロボットを目指して

脳型計算機システム研究室

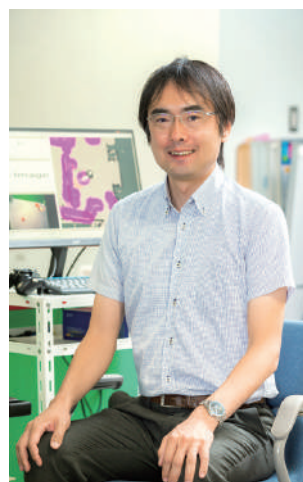
私たちの研究室では、計算機システム、人工知能ロボット・自動車応用の3本柱で日々研究を進め、すべてのモノの中に組み込むことができる未来の脳型計算機システムの実現を目指しています。現在のロボットは自動で動いているように見えても、予めプログラミングされた動きしかできません。一方、人間をはじめとする生き物は、五感で受けた情報を総合的に自らの脳で考えて行動することができます。私たちの研究室が目指すのは、この生き物のような脳型計算機システムの実現です。未来のロボットや自動車に活用できれば、人間とともに成長できるような家庭用サービスロボットが実現できるかもしれません。

その家庭用サービスロボットの世界大会で、私たちはこれまで3度の優勝をしています。今年は残念ながら中止でしたが、来年度は2つの世界大会をはじめ、アジアや日本国内の大会が開催予定です、そのすべての大会において優勝すべく、日々研究開発に取り組んでいます。

また、トヨタをはじめとした民間企業や様々な機関との共同研究も多数進行しています。この様な社会と繋がった研究体制を活かし、研究室で培った画像処理や知的情報処理などロボットや自動車の自動運転などの開発に貢献できる技術を社会にアウトプットしていぎ、世界を変えるイノベーションをこの九工大から目指していきます!!!

若松キャンパス

大学院生命体工学研究科
人間知能システム工学専攻
田向 権 准教授



表紙より

○表紙…3度の世界大会優勝を果たした家庭用サービスロボットHSR

